

今後の「農道の維持管理」



質問者
田代 実 議員

について

農道の維持管理は、地権者で組織する管理組合が草刈りや路面清掃など、日常的な作業の範囲内で実施しています。しかし、高齢化や後継者不足のため十分な対応が出来なくなっているのが現状です。

さらに、庶子地区の西山農道や中尾農道は令和元年と2年の9月に解散し、その管理は農道に隣接する畑や林の地権者が行うことになりましたが、畑などの法面の草刈りは危険を伴う重労働のため難しくなります。現に、荒廃地が多くなっている西山農道は、車両の走行が難しくなっています。

このような状況は増加傾向になると想定されますので、町は今後の農道

A 幹線農道などは、柔軟に対応したい

回答（町長）



の維持管理をどのように対応をされるのか、町長のお考えについて伺います。



農地の荒廃で通行不能になった農道

中・長期的には、意欲のある農家への農地集積等の施策について、貸し手に対する給付金制度を周知して農道を維持していきたい。

農道管理組合の解散による沿道地域の荒廃化は避けねばならない。最終的に町管理という結論はこれまでの経緯や、公費負担の観点と受益者負担の原則から時期尚早と考える。

幹線農道やハイキングコースとして活用している農道の町管理は、柔軟に対応していきたい。

2021年度における 本山町政の主要施策、重点事業、総合計画実行計画の予算化について



質問者
井上 栄一 議員

(1) 現在、2021年度予算編成が進行中であると思えます。そして本山町政2期目の節目の年でもあります。

計画をされた事業が様々にあります。総合計画に計上されている新規事業について、計画通り2021年度で予算化されるのか、どのような対応をされるのか、お伺いいたします。

そこで、2021年度予算において、どのような施策の方向性を示されるのか、どのような重点事業・新規事業を盛り入れるのか、お伺いいたします。

(2) 総合計画の中間年次残り2年間に向けた年に当たり、2021年度予算において、総合計画の事業予算化がされると思いますが、実施計画のプログラムで「2019・2020年度に計画検討」そして「2021年度から事業推進」と年次

A 来年度予算で新松田駅周辺整備事業に着手

回答（町長）



1点目の「2021年度の重点事業・新規事業」については、回答無し。



新松田駅周辺整備のイメージ図

2点目の「総合計画に計上の新規事業」のうち、新松田駅周辺整備事業は大きく分けると小田急橋上駅舎、自由通路、駅前広場整備そして集約施設がある。

来年度で予算が対応できれば、橋上駅舎・自由通路、駅前広場については詳細設計に入っていく。それぞれの事業の進捗度合いによって調整をしながら進めていく。

また、地権者は小田急・交通機関関係、事業地内の土地建物等の所有者等からなり、これら地権者の方々の了解を得て、丁寧に進めていく。